

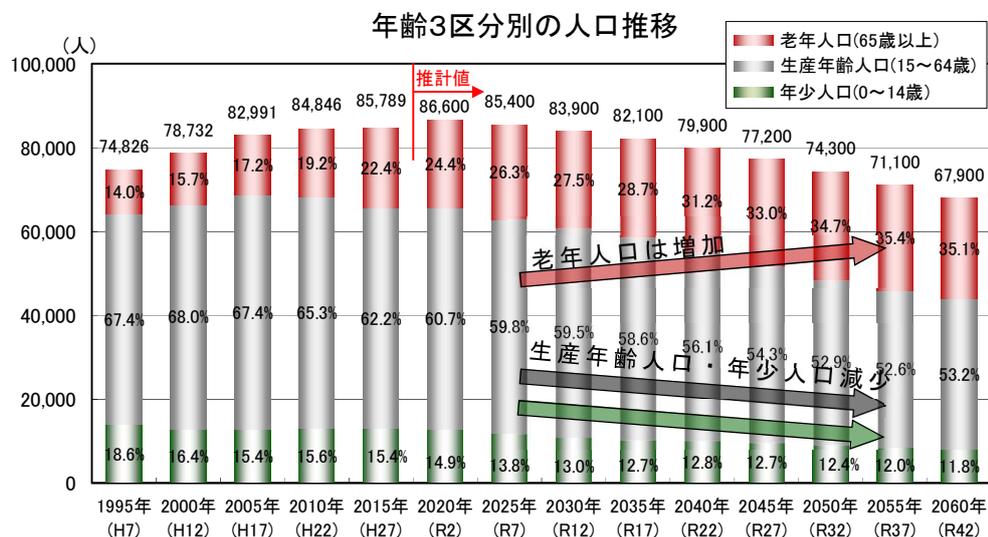
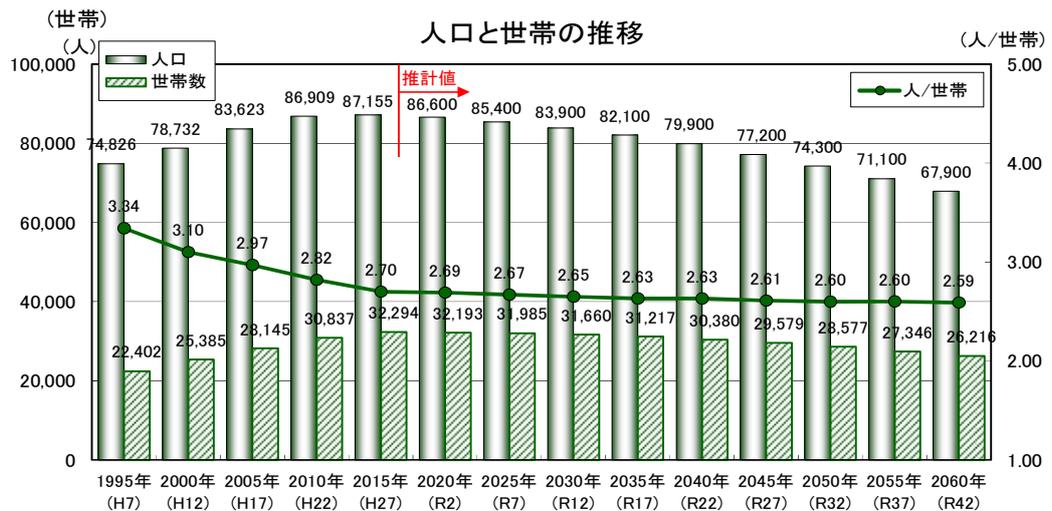
2

袋井市の現状

1. 人口

これまで、本市では、土地区画整理事業等の市街地整備を継続的に実施し、良質な宅地の供給を進めるとともに、工業団地の造成による企業誘致を実施するなど、人口が着実に増加してきました。しかしながら、2020年（令和2年）の86,600人をピークに減少に転じ、2040年（令和22年）には79,900人になると見込まれています。世帯数についても、増加が見られましたが、人口と同様に2020年（令和2年）の32,193世帯をピークに減少に転じ、2040年（令和22年）には31,217世帯になると見込まれています。

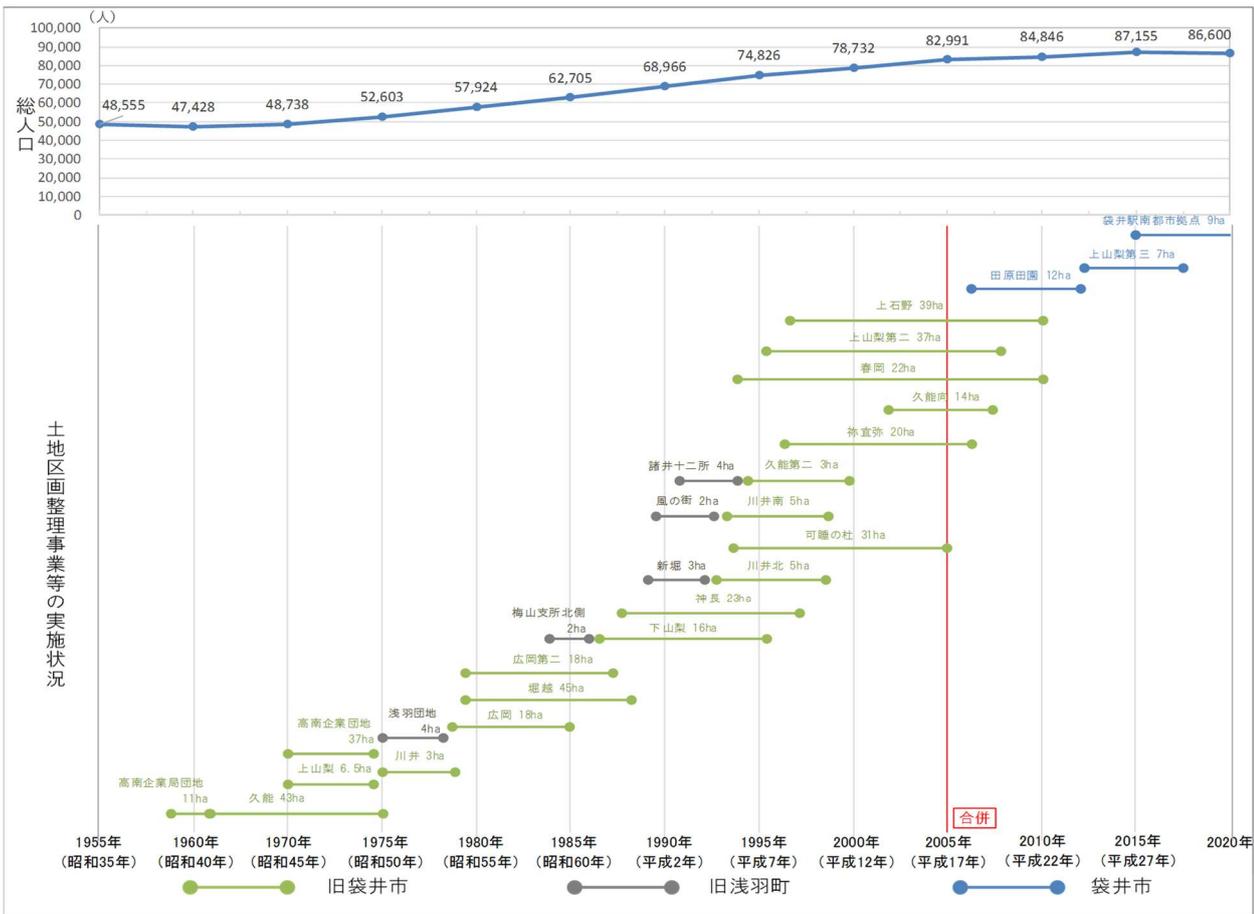
年齢別人口構成比を見ると、1995年（平成7年）以降、年少人口（15歳未満）は減少傾向にあるとともに、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。また、生産年齢人口も2005年（平成17年）を境に減少に転じています。



資料：1995年（H7）～2015年（H27）は国勢調査

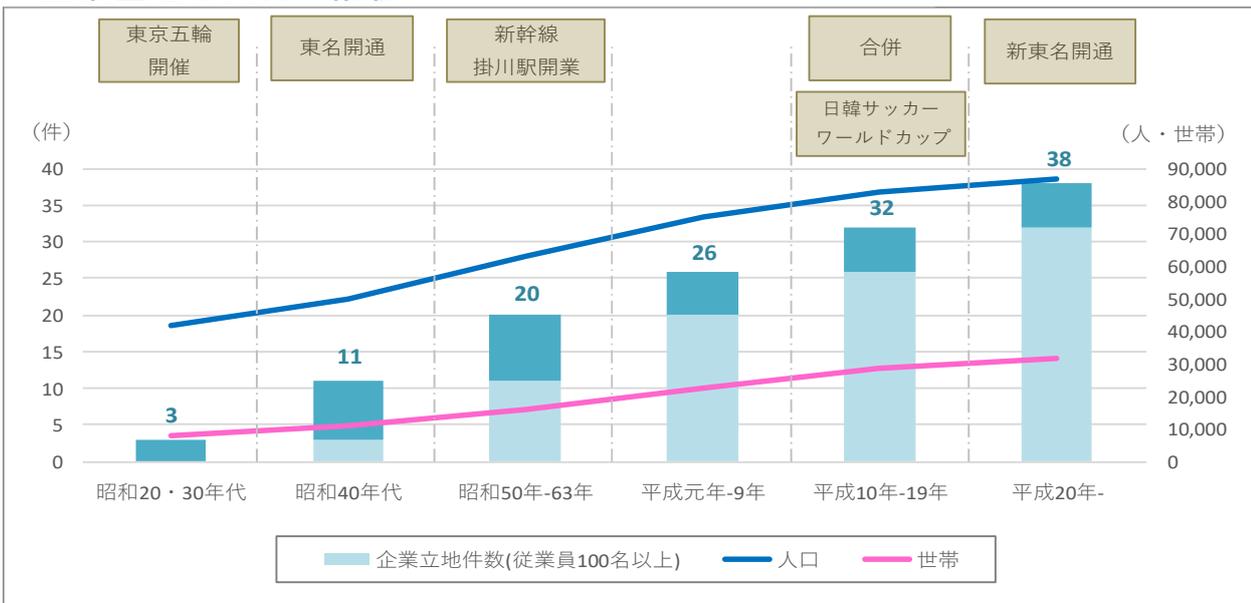
2020年（R2）以降は袋井市人口ビジョン 2015年（H27）

## ■土地区画整理事業等の実施状況と総人口の推移



資料：都市計画マスタープラン

## ■企業立地と人口の推移



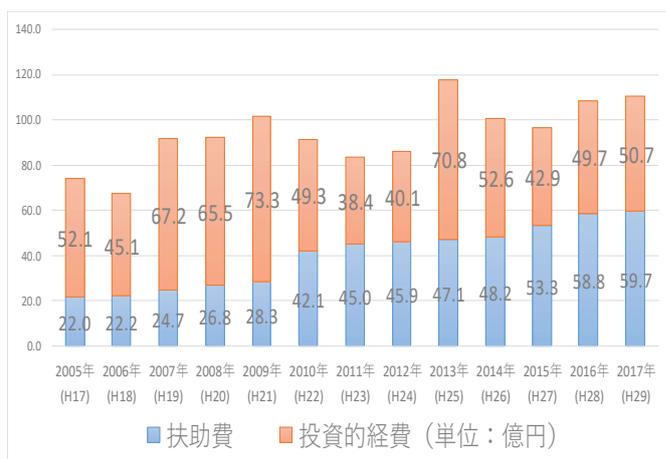
資料：都市計画マスタープラン

## 2. 財政

少子高齢化に伴い社会保障費等の扶助費の増加がみられます。また、2009年（平成21年）以降、公共投資の縮減等により減少傾向にあった投資的経費については、2013年（平成25年）に大幅な増加がみられましたが、その後減少傾向にあります。また、投資的経費の内、道路整備に係る費用においても減少しています。

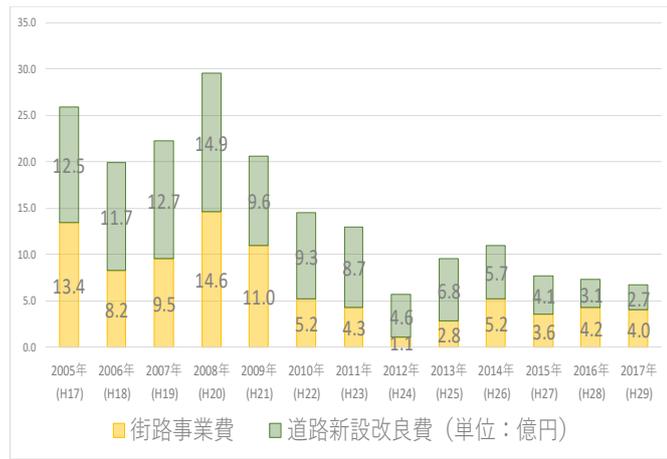
なお、高度経済成長期に集中的に整備された公共施設が、老朽化により更新期を迎えることから、更新や維持管理等の投資的経費の大幅な増加が予測されます。

### ■ 扶助費と投資的経費の推移



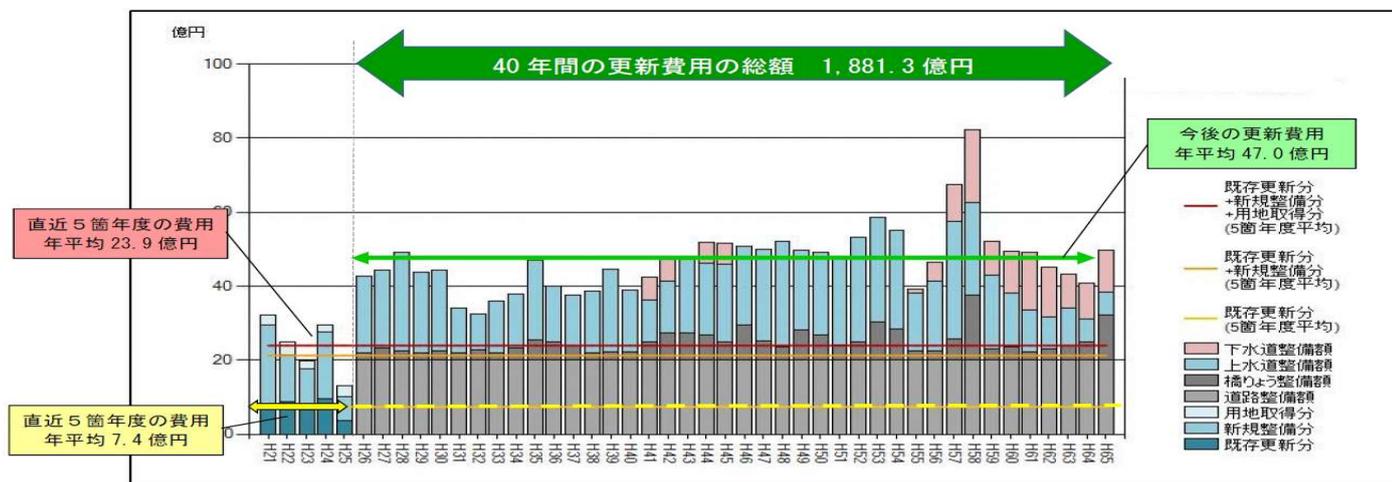
資料：<2005年（平成17年）～2017年（平成29年）>市政報告書

### ■ 投資的経費の内、道路整備費の推移



資料：<2005年（平成17年）～2015年（平成27年）>袋井市道路網10箇年計画(第5次後期)  
<2014年（平成16年）～2018年（平成30年）>庁内資料

### ■ インフラ資産の将来更新費用の見通し



投資的経費の範囲	直近5箇年度平均投資的経費	1年当たり将来更新費用
既存更新分（黄）	7.4 億円	47.0 億円
既存更新分+新規整備分（橙）	21.2 億円	
既存更新分+新規整備分+用地取得費（赤）	23.9 億円	

資料：袋井市公共施設等総合管理計画

## 3. 道路・交通

### 3-1. 本市が「管理」する“みち”について

本市が市道として管理する道路（以下「認定路線」という。）は、道路法及び袋井市市道認定規則に基づき、議会の議決を経て路線の認定を行い、その後、道路区域の告示や供用開始の手続きを行います。

認定路線の状況は、2019年（平成31年）4月現在で、3,810路線・実延長約1,132kmとなっており、その内、第1級路線※1は35路線・実延長約101km、第2級路線※2は41路線・実延長約61km、第3級路線※3は3,734路線・実延長約970kmとなっています。これらの認定道路は、道路法に基づき適切に維持管理を行っている状況です。

また、都市の成長や時代の背景に合わせ拡幅改良等を実施し、改良率※4は、全体として約66%となっており、そのうち第1級路線は約93%、第2級路線は約84%、第3級路線は約62%となっています。

#### ■ 認定路線の状況

認定路線名	路線数	実延長 (km)	改良済 実延長 (km)	改良率 (%)
第1級路線	35	101	94	93%
第2級路線	41	61	51	84%
第3級路線	3,734	970	598	62%
合計	3,810	1,132	743	66%

資料：袋井市道路台帳(2019年(平成31年)4月)



※1：第1級路線とは、幅員4メートル以上を有し、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1)市内官公署及び公営物に通ずる路線
- (2)市内市街地を連絡する幹線路線
- (3)市内各市街地内の路線で国道、県道又は他の重要市道に連絡する路線

※2：第2級路線とは、幅員2.7メートル以上の路線で第1級路線に準ずる幹線路線とする。

※3：第3級路線とは、幅員1.8メートル以上の路線で第1級路線、第2級路線以外の路線とする。

資料：袋井市市道認定規則

※4：改良率とは、袋井市道路台帳作成要領による既成改良率をいう。

「本市を通過する道路」と「道路網基本計画図に位置づけている道路」の関係性

本市を通過する道路は、国・県・市道を合わせて3,832路線・総延長1,221kmあり、その内、国・県が管理する道路が22路線・総延長89km、市が管理する道路が3,810路線・総延長1,132kmあります。

これらの道路に都市計画道路等の新規整備路線である構想路線26路線・延長約34kmを加えると、3,858路線・総延長1,255kmとなり、この中から、主要幹線道路・幹線道路・地区幹線道路として道路網基本計画図に位置づける道路を整理・選定し169路線・総延長約286kmを位置づけています。

■本市を通過する道路（国道・県道・市道）



※都市計画道路等の構想路線26路線・延長約34kmを含める。

■道路網計画図に位置づけている道路



■管理区分別・道路機能別の路線数・延長

区分	国道		県道		市道						構想路線		合計	
	路線数	延長	路線数	延長	第1級路線		第2級路線		第3級路線		路線数	延長	路線数	延長
					路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長				
主要幹線道路	3	19	10	49	3	13					2	9	18	90
幹線道路			8	19	11	40	5	5	6	7	6	11	36	82
地区幹線道路			1	2	16	26	16	15	64	57	18	14	115	114
小計	3	19	19	70	30	79	21	20	70	64	26	34	169	286

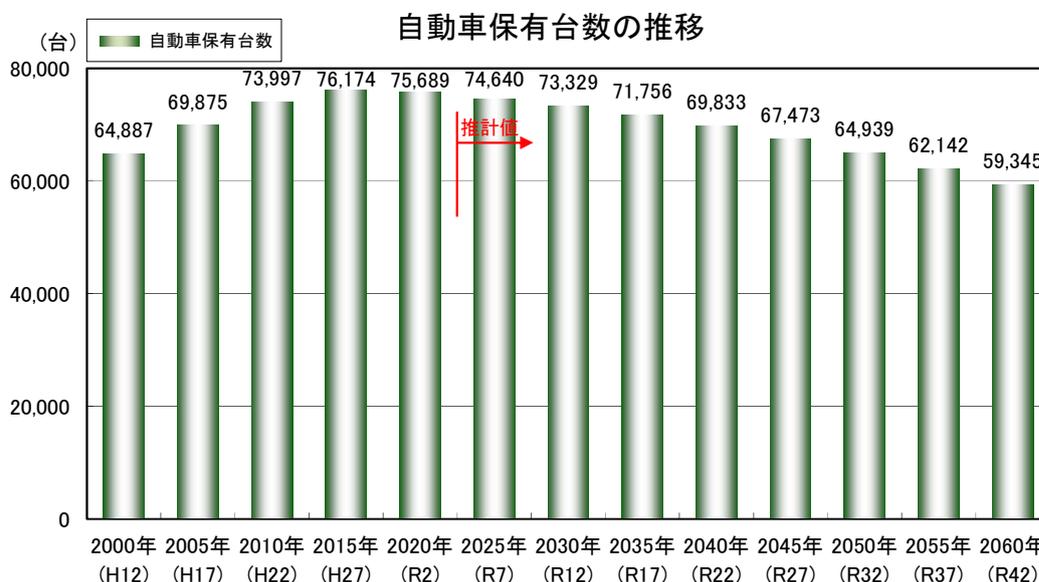
生活道路					5	22	20	41	3,664	906			3,689	969
合計	3	19	19	70	35	101	41	61	3,734	970	26	34	3,858	1,255

資料：庁内資料(2019年(平成31年)4月)

※袋井市みちプログラムの主要幹線道路等の路線数は区間数のことであり、管理上による級種別道路の路線数と異なります。このため、市政概要と異なる数値となっています。

### 3-2. 自動車保有台数

これまで、本市では継続的な基盤整備を進め、人口増加やモータリゼーションが進むとともに、自動車保有台数も増加してきましたが、2015年（平成27年）の76,174台をピークに減少に転じ、2040年（令和22年）には69,833台になると見込まれています。

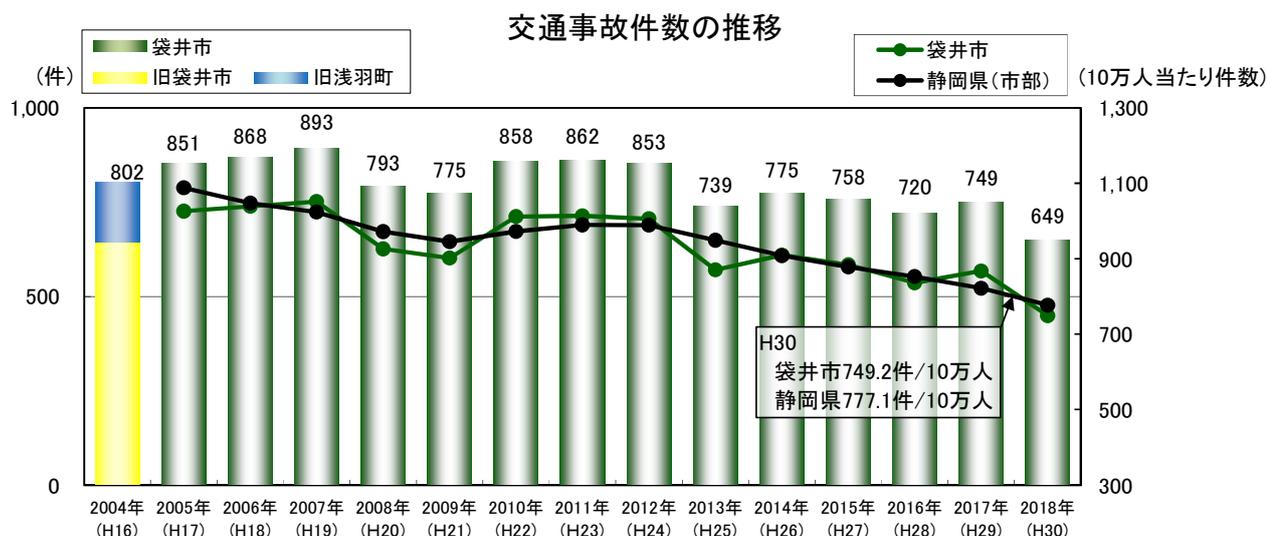


資料：自動車保有台数調査（静岡県）大型特殊自動車は含まれていない。各年4月1日現在

2020年(R2)以降は袋井市人口ビジョン2015年(H27)に基づく人口推計値の推移を基に2015年(H27)を基準年として算出している

### 3-3. 交通事故件数

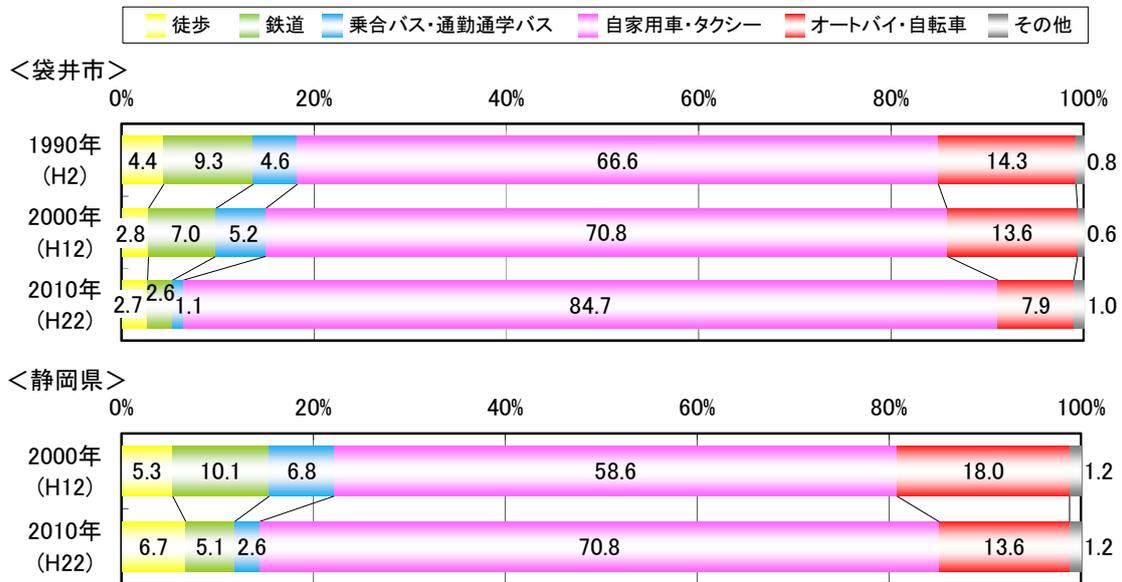
交通事故件数は、ピーク時に900件近くあったものが、2018年（平成30年）には約650件程度となっています。10万人あたりの事故件数は、ほぼ静岡県全体で見た場合と同程度となっています。



資料：静岡県交通年鑑

### 3-4. 交通分担率

交通手段の構成は、1990年(平成2年)から2010年(平成22年)にかけて、自家用車・タクシーの分担率が18.1%増加しており、移動手段の約85%が自動車によるものとなっています。静岡県全体と比べ、自家用車・タクシーの利用が高くなっているほか、民間バスの利用状況も減少傾向にあります。



資料：国勢調査

### 3-5. 交通量

本市で実施した2011年（平成23年）と2015年（平成27年）の自動車交通量調査を比較したところ、56地点（平成23年と同一箇所）のうち、交通量が増加した地点は19地点（約1/3）、減少した地点は37地点（約2/3）でした。

最も伸び率の高かった地点は、11.下山梨と23.鷺巣で9%交通量が増加しています。次に伸び率の高かった地点は、2.中川交差点と12.平宇交差点で8%増加しています。2.中川交差点については、新東名高速道路開通によるものと考察されます。

一方、伸び率の低かった地点は、14.延久橋で15%減少、次いで10.赤塚橋南と20.土橋で13%の減少でした。

■ 交差点交通量経年比較表（2012年（平成23年）・2015年（平成27年））

No	地点名	12時間交通量（台/12時間）			
		平成23年度	平成27年度	比較増減	伸び率
1	川会交差点	7,704	7,368	-336	0.96
2	中川交差点	7,067	7,607	540	1.08
4	深見橋西交差点	9,621	8,699	-922	0.90
5	深山橋南	13,384	13,095	-289	0.98
6	月見の里東交差点	13,804	14,330	526	1.04
7	上山梨南交差点	8,324	8,392	68	1.01
8	上山梨交差点	14,017	13,534	-483	0.97
9	宇刈三沢交差点	9,018	8,630	-388	0.96
10	赤塚橋南	6,579	5,755	-824	0.87
11	下山梨	7,563	8,266	703	1.09
12	平宇交差点	13,373	14,484	1,111	1.08
13	村松西	5,057	4,659	-398	0.92
14	延久橋	5,983	5,064	-919	0.85
15	徳光交差点	12,807	12,057	-750	0.94
16	袋井I C北交差点	19,804	18,992	-812	0.96
17	堀越上東名北	13,083	12,691	-392	0.97
18	可睡西交差点	14,473	13,346	-1,127	0.92
19	小山公会堂前	6,818	6,930	112	1.02
20	土橋	9,666	8,380	-1,286	0.87
21	袋井I C南交差点	24,334	23,807	-527	0.98
22	堀越上交差点	15,789	15,170	-619	0.96
23	鷺巣	8,263	8,977	714	1.09
25	高塚橋前	9,465	9,085	-380	0.96
28	川井東交差点	20,957	20,959	2	1.00
29	袋井市役所前交差点	19,434	17,829	-1,605	0.92
30	新屋交差点	15,568	14,183	-1,385	0.91

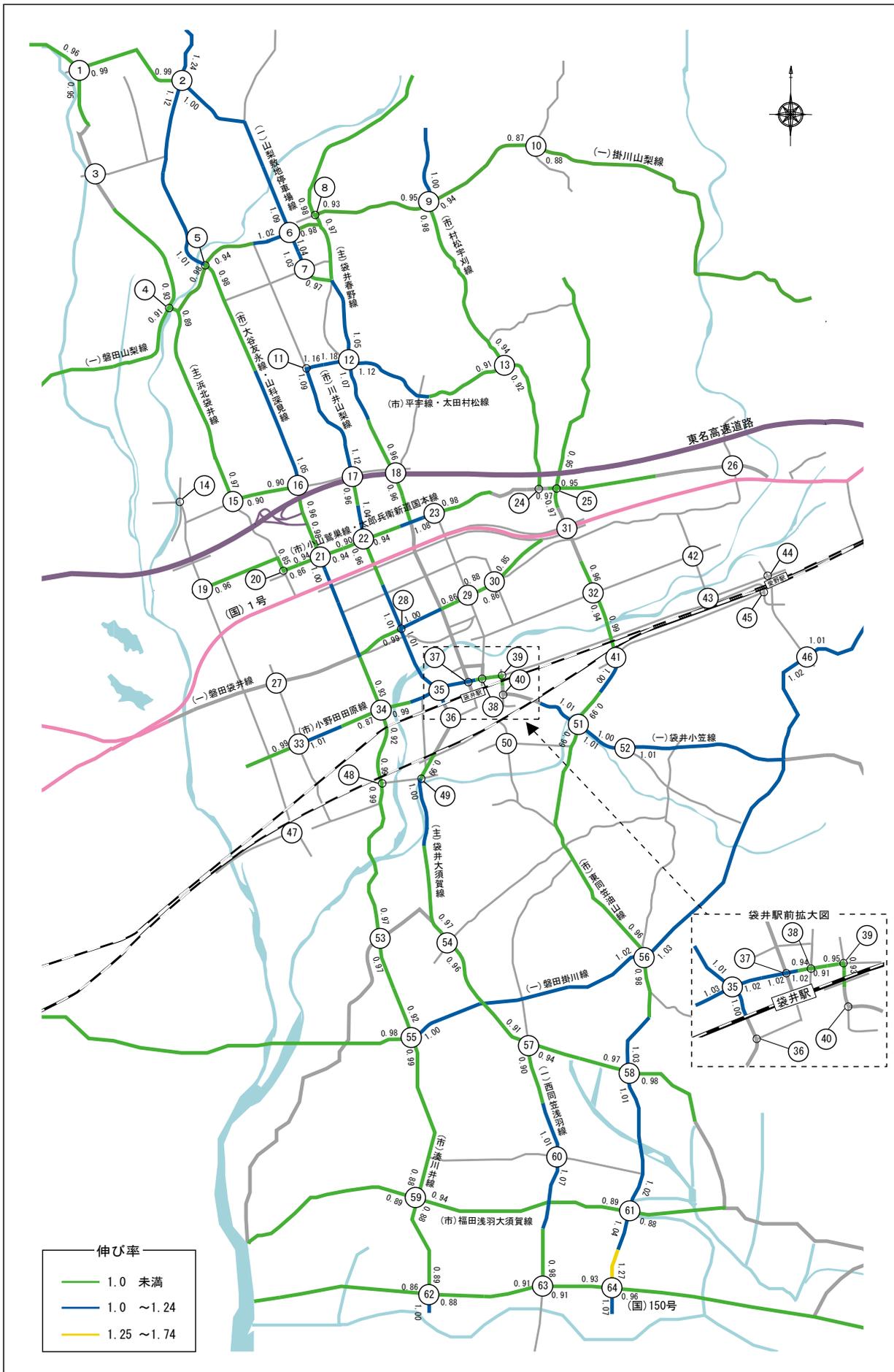
資料：袋井市交通量調査（2015年（平成27年））

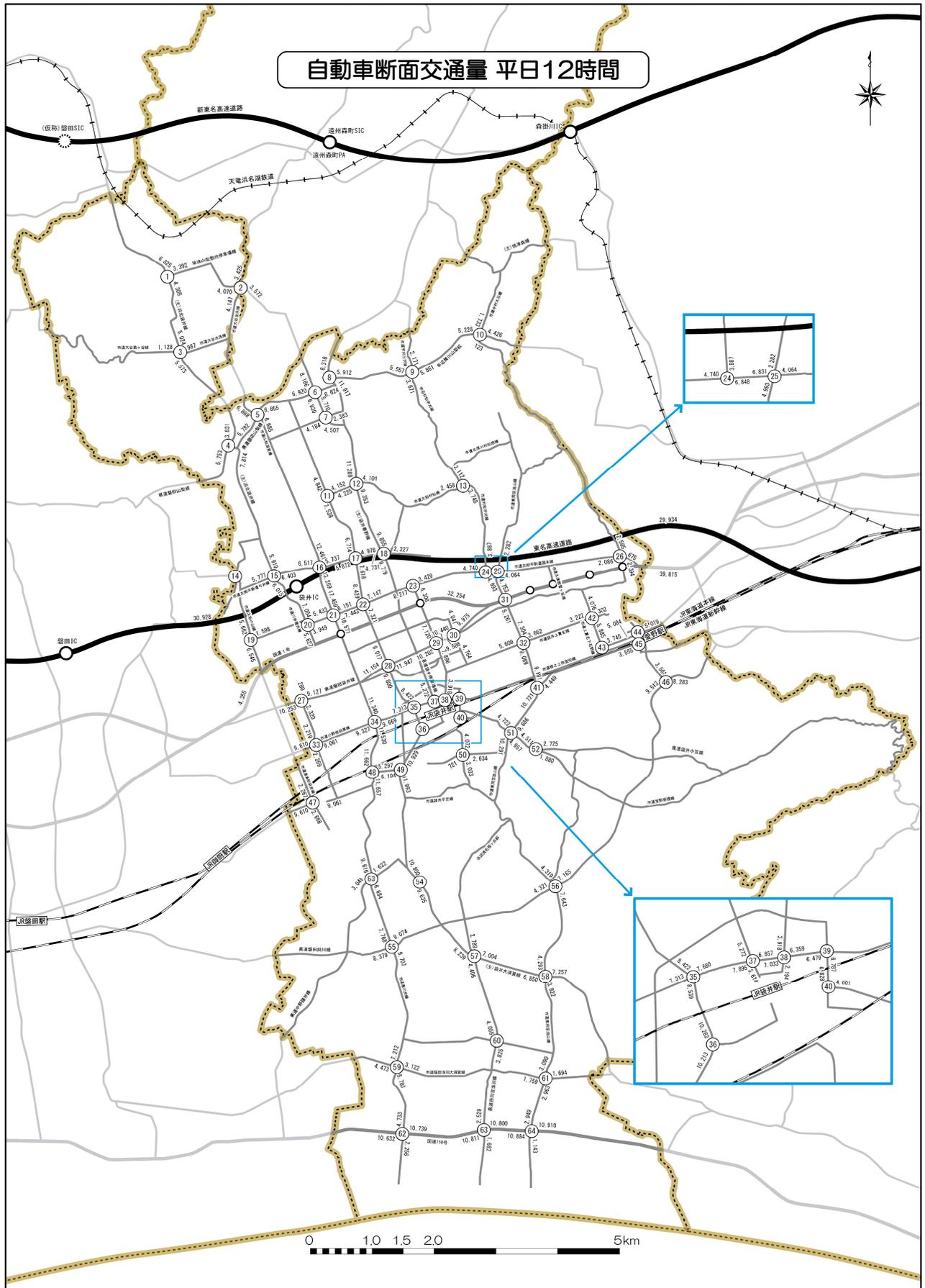
No	地点名	12時間交通量（台/12時間）			
		平成23年度	平成27年度	比較増減	伸び率
32	工業団地南交差点	13,404	12,832	-572	0.96
33	新池西交差点	11,685	11,804	119	1.01
34	新池東交差点	22,593	20,933	-1,660	0.93
35	睦町交差点	15,766	15,977	211	1.01
37	袋井駅北交差点	11,707	11,907	200	1.02
38	東通交差点	10,960	9,664	-1,296	0.88
39	高尾掛之上交差点	10,982	10,907	-75	0.99
41	広愛大橋南交差点	12,633	12,648	15	1.00
42	曙橋北交差点	6,482	6,714	232	1.04
44	愛野駅北	5,556	5,526	-30	0.99
45	宮前架道橋前	7,612	7,948	336	1.04
46	エコパ前	11,132	11,294	162	1.01
47	彦島三叉路	2,546	2,624	78	1.03
48	鉄開橋交差点	14,553	14,308	-245	0.98
49	柳原交差点	14,955	14,815	-140	0.99
50	袋井小川郵便局前	4,934	5,240	306	1.06
51	神長	14,921	14,828	-93	0.99
52	宝野	4,540	4,558	18	1.00
53	一本松	10,911	10,488	-423	0.96
54	掛川信用金庫浅羽支店前	12,545	12,020	-525	0.96
55	浅岡交差点	17,928	17,464	-464	0.97
56	中遠クリーンセンター東南	11,758	11,724	-34	0.99
57	浅名	12,135	11,219	-916	0.92
58	西区交差点	11,216	11,111	-105	0.99
59	松原西交差点	11,559	10,295	-1,264	0.89
60	梅山北交差点	5,440	5,456	16	1.00
61	梅山東交差点	4,881	4,753	-128	0.97
62	湊東交差点	16,081	14,180	-1,901	0.88
63	西同笠交差点	14,086	12,911	-1,175	0.92
64	サークルK袋井大野店前交差点	13,245	12,943	-302	0.98
12時間交通量 合計		650,701	631,380	-19,321	0.97

No	地点名	12時間交通量（台/12時間）			
		平成23年度	平成27年度	比較増減	伸び率
3	大谷交差点	-	6,356	-	-
24	高塚橋前西	-	7,722	-	-
26	シノムラ化学工場前	-	3,875	-	-
27	木原交差点	-	10,990	-	-
31	久津部交差点	-	12,316	-	-
36	高尾	-	11,118	-	-
40	高尾掛之上南	-	6,990	-	-
43	曙橋南	-	6,795	-	-
12時間交通量 合計		-	66,162	-	-

資料：袋井市交通量調査（2015年（平成27年））

■ 交差点交通量経年比較図 (2012年(平成23年)・2015年(平成27年))

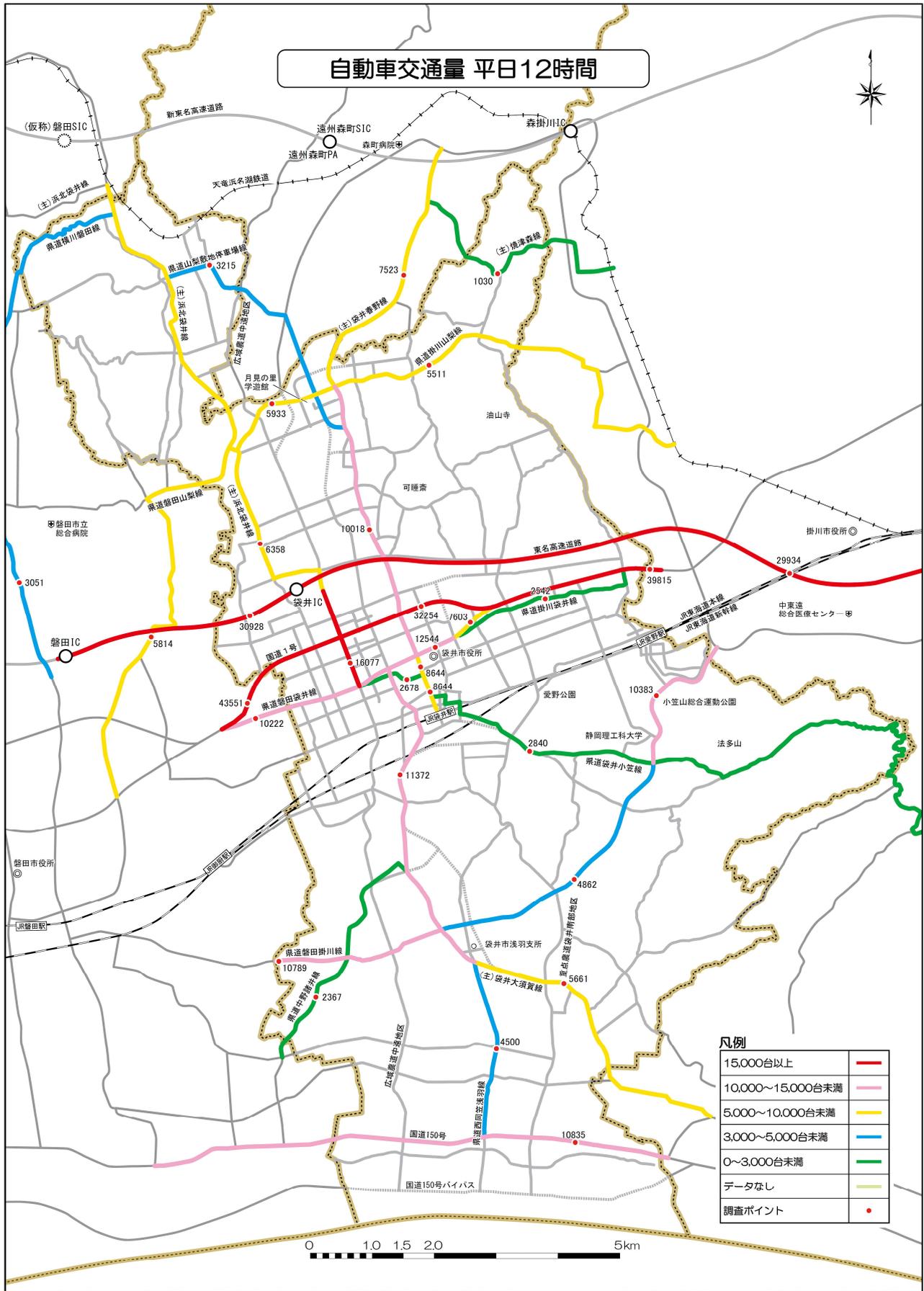




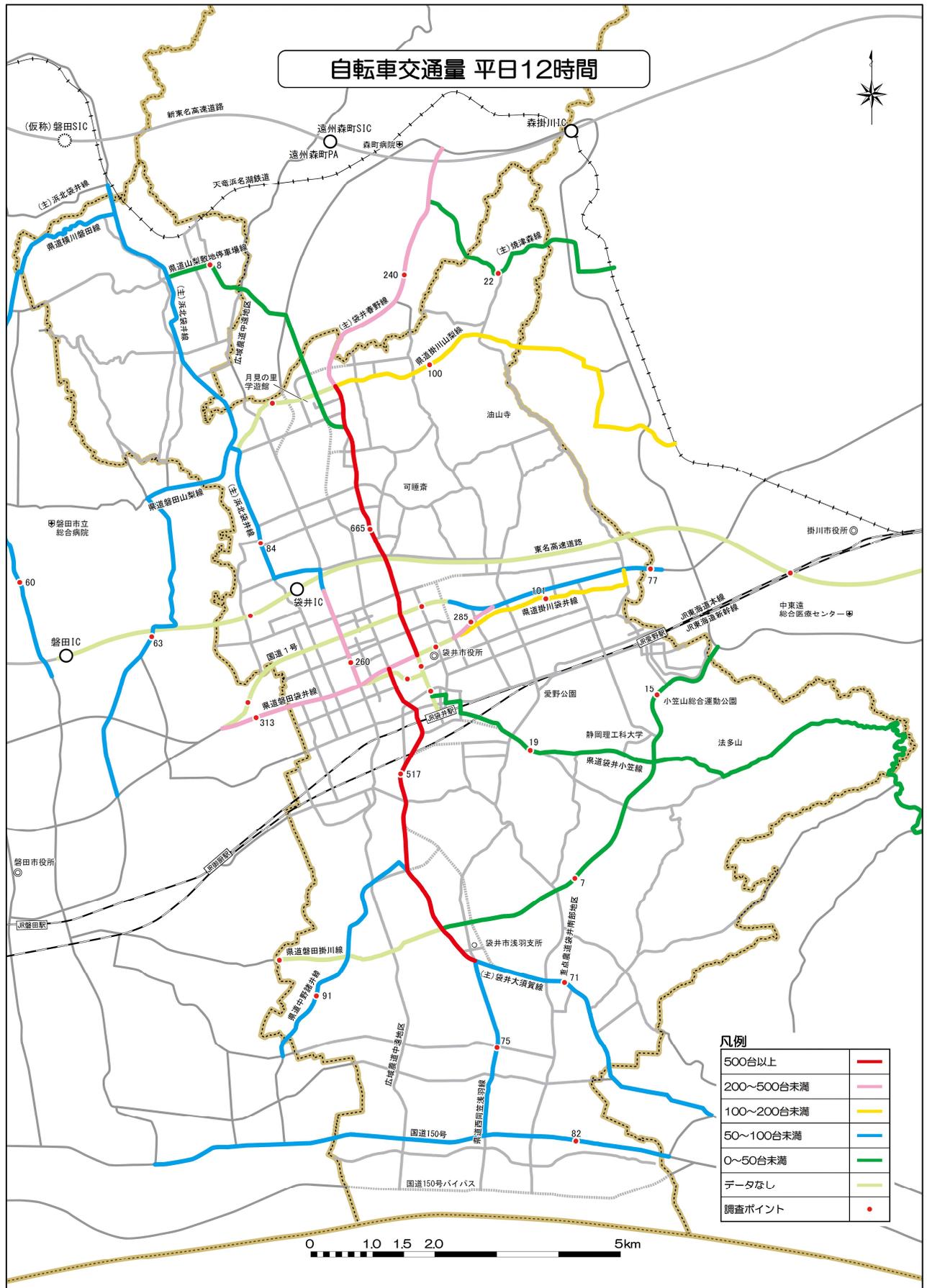
資料：袋井市交通量調査（2015年（平成27年））

東名高速道路・国道1号は、道路交通センサス（2015年（平成27年））

# 自動車交通量 平日12時間

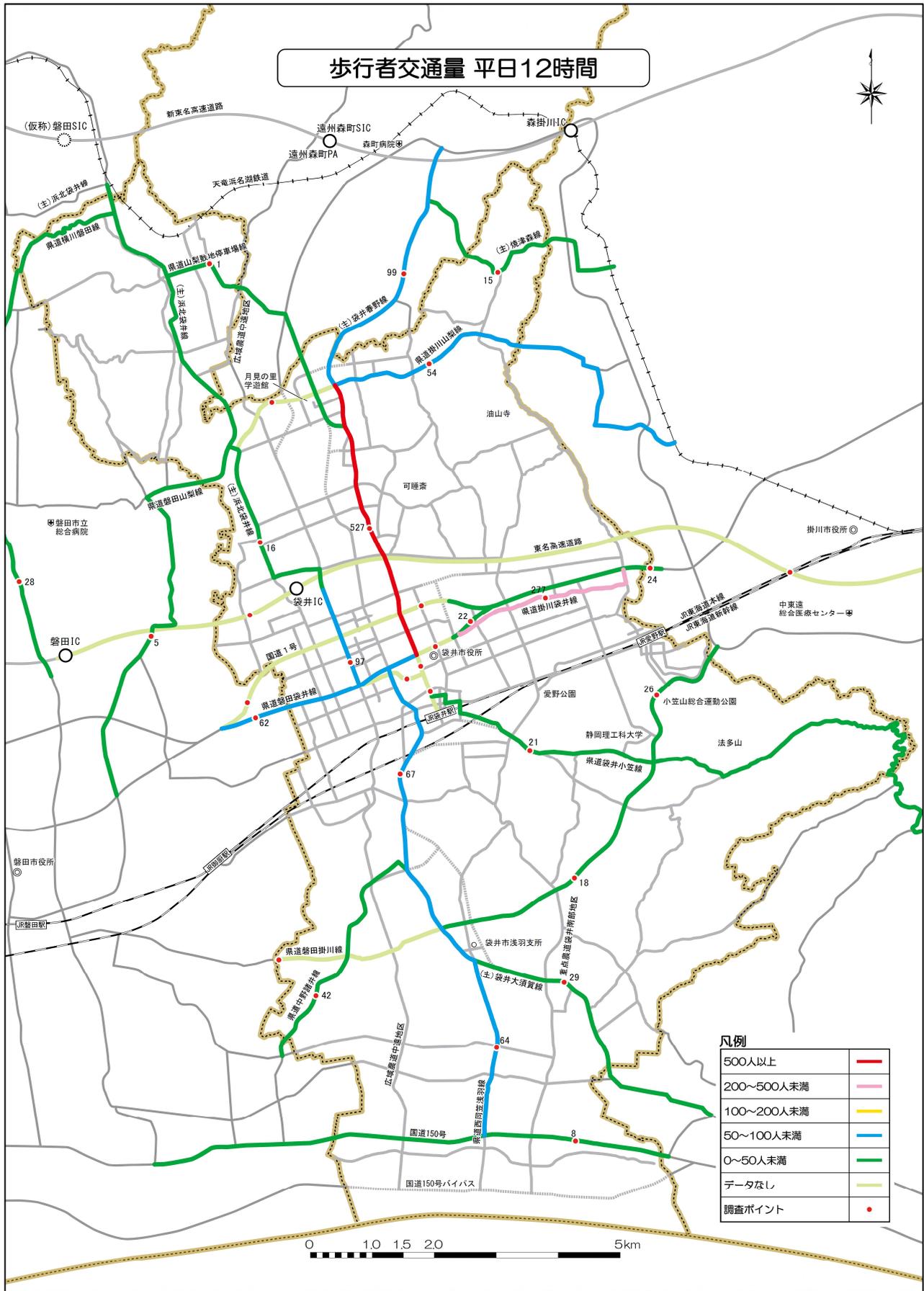


資料：道路交通センサス（2015年（平成27年））



資料：道路交通センサス（2015年（平成27年））

# 歩行者交通量 平日12時間



資料：道路交通センサス（2015年（平成27年））

### 3-6. 混雑度

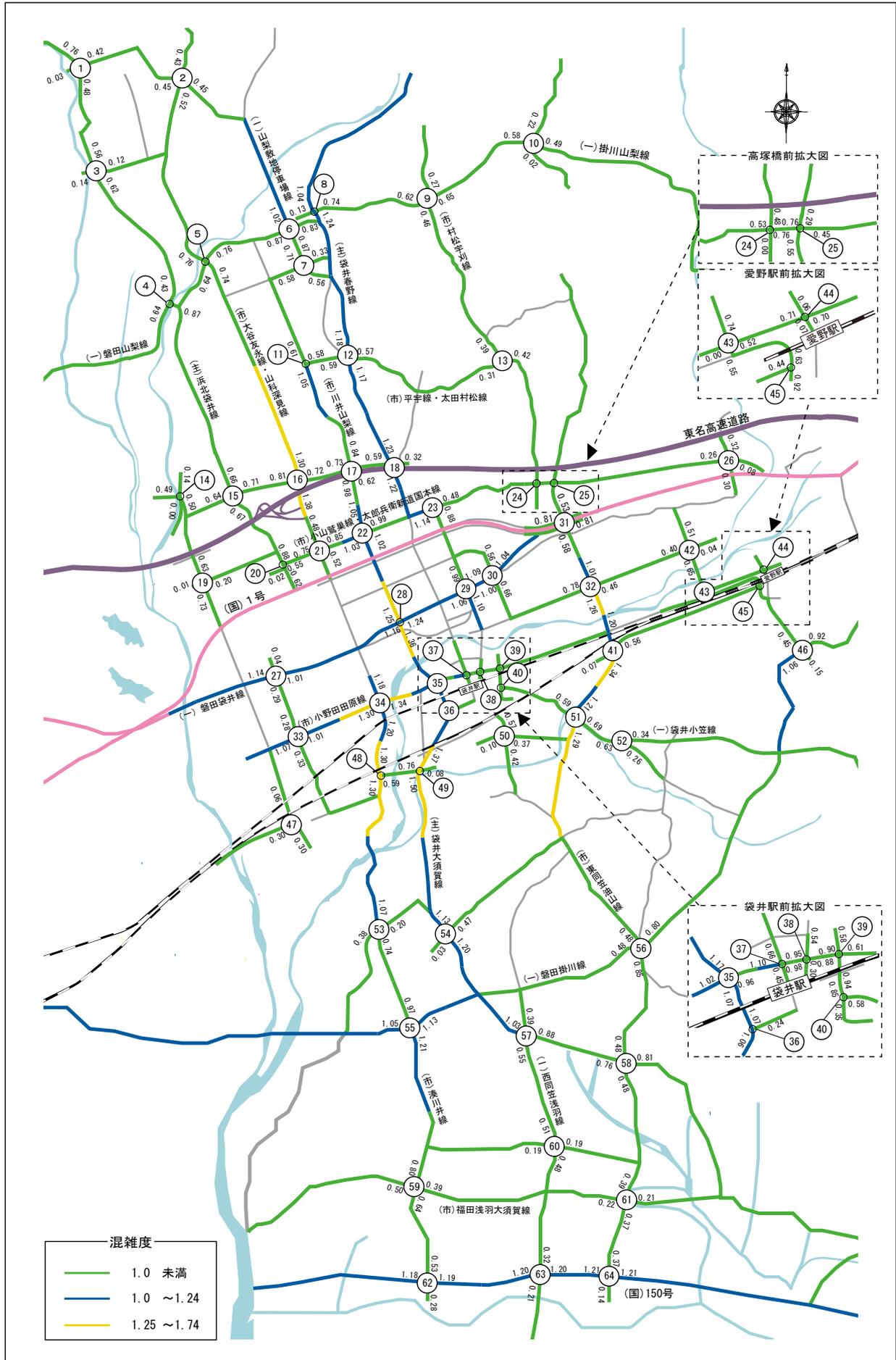
本市で実施した 2011 年（平成 23 年）と 2015 年（平成 27 年）の交通量調査より、混雑度 1.25 以上の区間は 23 区間から 13 区間に減少し、これまでの取組により混雑度が改善されています。しかし、局所的な交通の滞りが発生しています。

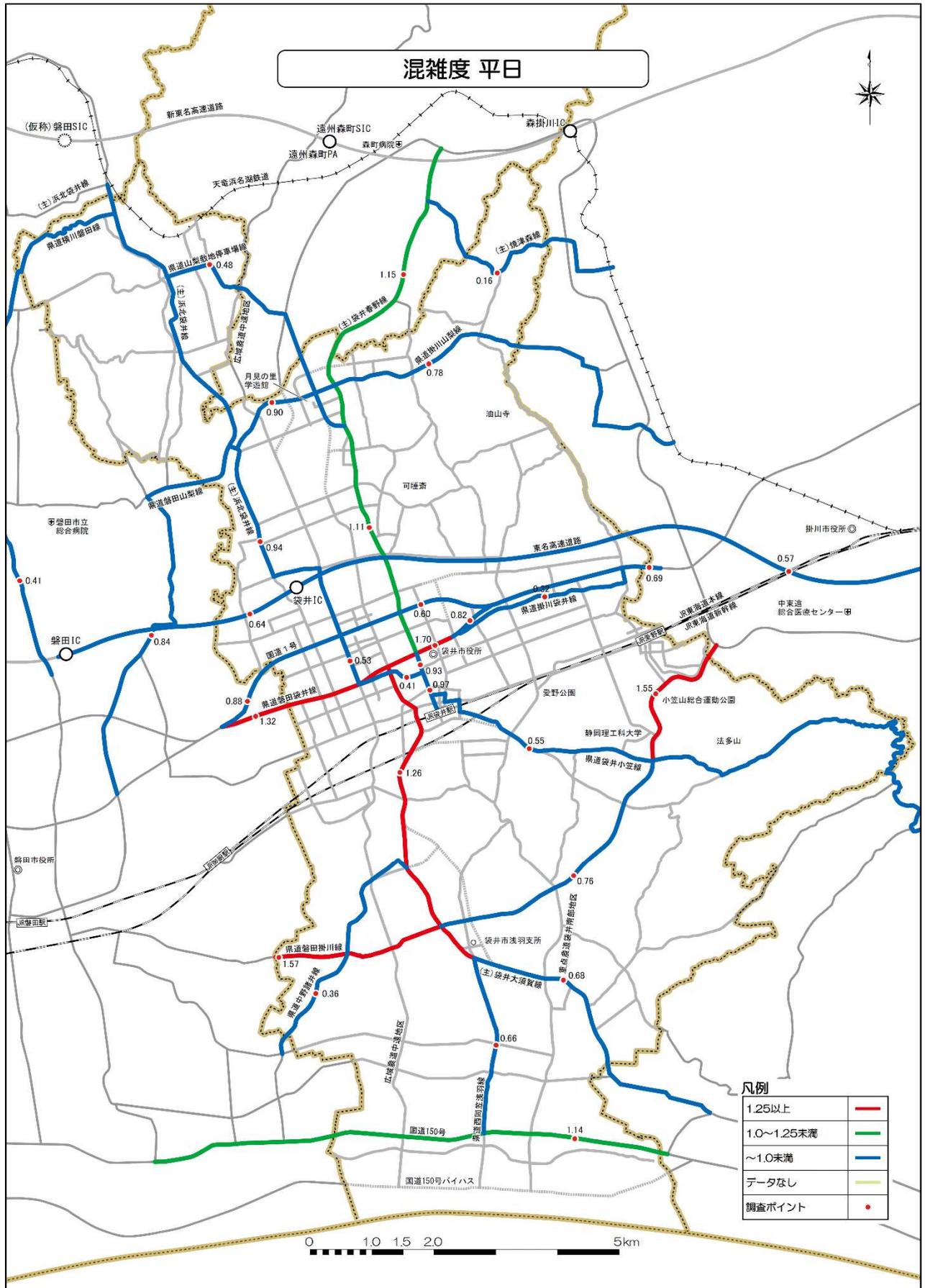
2015 年度（平成 27 年度）道路交通センサス結果では、県道磐田袋井線、(主)袋井大須賀線、県道磐田掛川線で混雑度 1.25 以上となっています。

#### <混雑度の解釈>

区 分	交通状況の推計
1.0 未満	昼間 12 時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。 渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0~1.24	昼間 12 時間のうち道路が混雑する可能性がある時間帯が 1~2 時間ある。 何時間も混雑が連続するという可能性は非常に少ない。
1.25~1.74	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。
1.75 以上	慢性的混雑度状態を呈する。

# 交差点断面交通量混雑度図





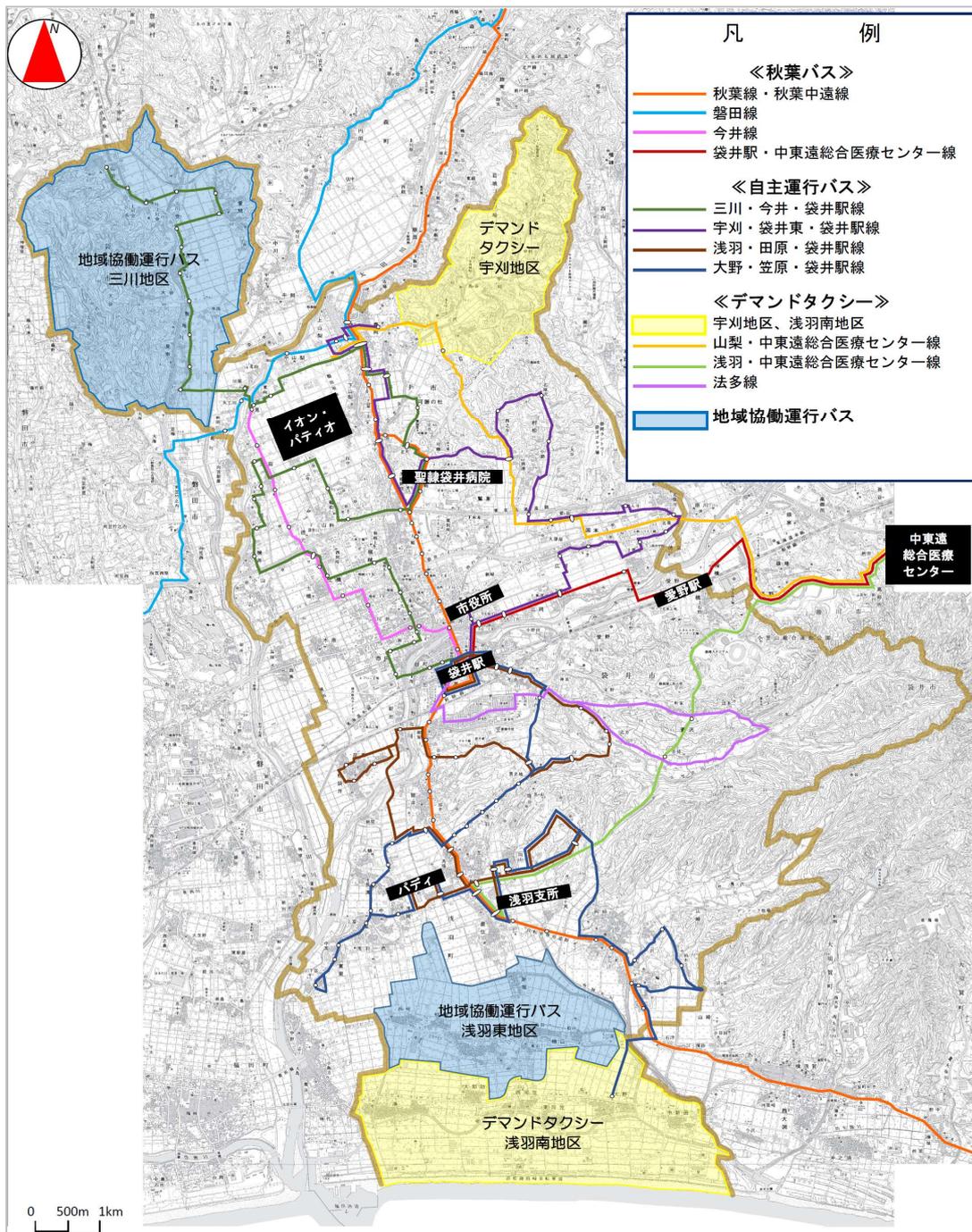
資料：道路交通センサス（2015年（平成27年））

### 3-7. 公共交通

鉄道は、JR東海道本線が横断しており、JR袋井駅とJR愛野駅が立地しています。バスは、民間の路線バスとして遠州鉄道、秋葉バスサービスが運行されており、遠州鉄道は主に磐田市方面、秋葉バスサービスは市内路線のほか、森町、掛川市方面に運行されています。JR東海道本線、秋葉バスサービスの秋葉中遠線・秋葉線は、1日当たり30本以上の運行があります。

また、民間バスがカバーできない区域については、市の自主運行バスや地域協働運行バス、デマンドタクシーを運行しています。

■袋井市公共交通網図



資料：庁内資料